



完成したホールで活動する園児と
学生11日、八戸市

八学短大、幼児保育学科棟に新設

八戸学院大短期大学部（杉山幸子学長）は11日、幼児保育学科棟に新設した多目的ホールで完成セレモニーを開いた。教職員や同学部後援会の会員ら約30人が出席。広々としたホールを活用し、幼児教育の発展に努めることを誓った。

昨年11月から旧校舎の解体や老朽化に伴う校舎の改修工事を実施。今年3月に工事を終えた。

新たな多目的ホールは広さ350平方メートル。改修前は教室として使用されていた部屋2室をつないだ。大きな窓も特徴で、明るく開放的な空間に

多目的ホール完成

なっている。授業や学生の活動だけでなく、系列幼稚園の催しなどでも使用される予定。

併せて、ピアノレッスン室の増設や、学習ラウンジや学生ホールに隣接する美術室も整備した。

セレモニーでは、杉山学長が「皆さまのご支援のおかげで無事改修工事を終えられた。これからまた新しく歴史を刻んでいきたい」と謝辞を述べた。系列の幼稚園3園の園児計51人が歌で完成を祝った。

その後、同学科の2年生53人と園児が音楽に合わせて体を動かす授業を行い、真新しいホールで伸び伸びと活動した。（向屋敷萌）